

□全て新規事業又は新規性のある取組を掲載しています。括弧書き( )は資料1-1「令和7年度当初予算と条例のポイント」の関連項目です。

## 子ども・子育て支援 ~みえ子どもまると支援パッケージ・3rdステージ~

I. 県民の命と尊厳を守る / 1. 困難を抱える子どもへの支援  
II. 未来を拓く / 1. 子どもの希望を育む

R 5 当初：98.6億円 [前年度比22%増]  
R 6 当初：106.3億円 [前年度比7.8%増]  
R 7 当初：112.4億円 [前年度比5.8%増]

- 子ども医療費の現物給付に係る市町補助の対象を中学生年齢の入院まで拡大 [193百万円]

R5:未就学児の現物給付に係る所得制限の一部廃止(+1.3億円)  
R6:医療費補助の対象を中学生年齢の入院まで拡大(+1.5億円)

- 学校に代わる居場所としてのフリースクール支援  
(事務局職員の人件費・施設賃借料・修繕費等の運営経費補助) [15百万円]
- 保育士確保に向けた「三重県保育士・保育所支援センター」における人材バンク機能の強化 [7百万円]



## ジェンダーギャップ解消に向けた取組

R 7 当初：5億円 [前年度比9.5%増]

II. 未来を拓く / 4. 人口減少対策の着実な推進  
5. 人材確保対策の本格展開

- ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定 [4百万円(一部2月補正(その1))] ]
- 短時間正社員制度等の導入・活用の促進  
(奨励金の支給、専門家による伴走支援等) [33百万円]
- 家事代行サービス利用補助の促進  
(みえ子ども・子育て応援総合補助金) [R6:300百万円→R7:330百万円]

弱点克服:ジェンダーギャップ指数(経済分野)が全国で46位



## 南海トラフ地震対策の強化に向けた取組

R7当初：37.7億円 [前年度比14.8%増]

1. 県民の命と尊厳を守る / 2. 防災・暮らしの安全安心

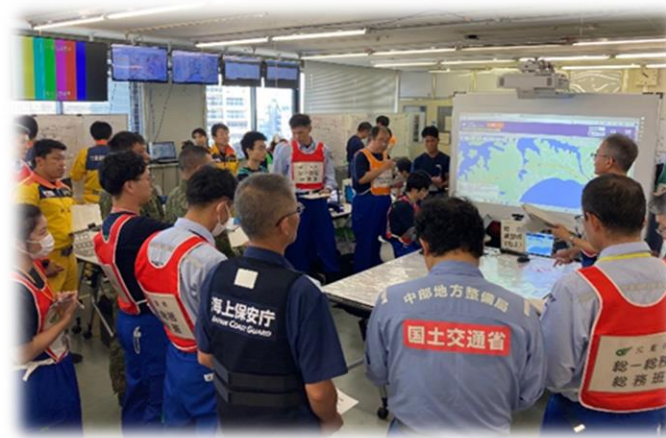
- 孤立地域対策や避難所環境改善に取り組む  
市町への支援

(いのちを守る防災・減災総合補助金(仮称)) [334百万円]

- シチュエーションルーム及びオペレーションルーム  
の機能強化 [42百万円]

- 空中消火実施体制の強化を図るため、自立式消火  
バケットの購入及び自衛隊との協定の締結 [5百万円]

能登半島地震では発災直後より延べ約18,000人を派遣  
支援活動で得た多くの「気づき・課題」を80項目にとりまとめ



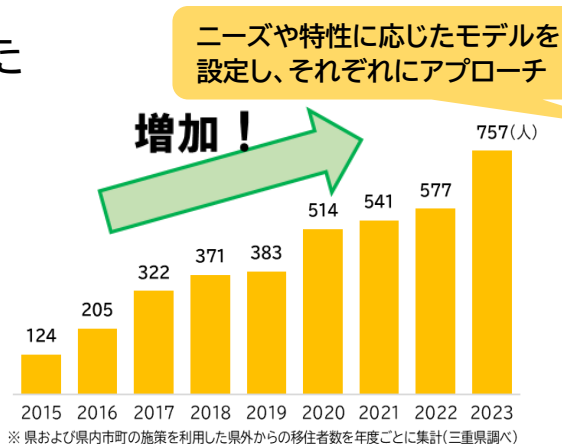
## 移住の促進

R7当初：4.4億円 [前年度比24.8%増]

II. 未来を拓く / 4. 人口減少対策の着実な推進

- 移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションの実施 [27百万円]

- 県独自の移住フェア、移住セミナー等の開催 [28百万円]



県内への移住者数  
H27:124人→R5:757人

UP!!

4つのモデル		
	暮らし重視	仕事重視
都市部	①仕事を变えずに移住 ベルソナ例)愛知県在住の夫婦。子との3人暮らし。子育てしやすい環境での生活を希望しているが、今の仕事を続けたいので転職は考えていない。	②仕事を見つけて移住 ベルソナ例)関西在住の20代後半女性。都会生活から離れ、今の居住地から比較的近い近畿での移住先を仕事優先で検討している。
地方部	④自然環境や暮らしを重視して移住 ベルソナ例)関西在住の30代共働き夫婦。フリーランスのまま、憧れの海が見える場所での暮らしを希望。将来、家族が増えることを考え、子育て環境も考慮している。	③やりたいことの実現にむけて移住 ベルソナ例)首都圏在住の30代単身男性。企業勤め。自然豊かな場所での農業に憧れがあるが未経験であるため就業サポートが必要。一軒家を希望している。

※ベルソナ…モデル毎に設定する具体的な人物像

## 公共交通の維持・確保

R7当初：12.9億円 [前年度比1.7%増]

II. 未来を拓く / 4. 人口減少対策の着実な推進

- 公共ライドシェアの導入など交通空白の解消に取り組む市町への支援 [130百万円]

- バス・タクシーの運転士不足への対応 [24百万円 (2月補正(その1))]

弱点克服:「移动手段、交通の便利さ」全14分野の中で  
ワースト1位 ※みえ県民一万人アンケート(第2回)



紀北町 おでかけ応援サービス「えがお」  
(公共ライドシェア)



みえU | 8会議

<若者の声>

「車がないと生活できない」  
「公共交通の利便性が低い」  
住み続けるのに最低限必要なのはコンビニや便利な交通網」



地域座談会

<高齢者の声>

「免許返納したくてもできない」  
「ドアtoドアの輸送があると良い」

## 成長産業の振興

R7当初：33.9億円 [前年度比23.1%増]

II. 未来を拓く / 2. 産業の成長支援

- 半導体関連産業の集積や投資促進  
(方針策定、企業・高等教育機関と連携した人材育成・確保) [23百万円]
- 洋上風力発電に係る国の次期実証事業への応募を見据えたポテンシャル調査の実施 [5百万円]
- スタートアップ創出支援  
(インキュベーション施設の整備や企業の一部機能(調査・設計部門等)の誘致に係る進出企業への補助) [60百万円]



オランダのウインドファーム  
(出典：資源エネルギー庁ホームページ)

## 農林水産業の振興

R7当初：106.8億円 [前年度比8.1%増]

II. 未来を拓く / 2. 産業の成長支援  
3. 観光・プロモーションの推進

- 伊勢茶のブランド展開戦略の構築、海外プロモーションや関西茶品評会でのブランド価値向上に向けた支援 [15百万円]
- 真珠、青さのり、マハタ養殖における遺伝情報を活用した育種の実施、新魚種導入の検討 [30百万円]
- 農業・林業・水産業の各分野の多様な担い手の確保に向け、受入環境の整備等を支援 [47百万円]
- 第44回全国豊かな海づくり大会～美し国三重大会～の開催 [672百万円]



写真提供：大分県

受け継ごう 命あふれる 清い海



第44回  
全国

豊かな海づくり大会

～美し国みえ大会～

## 観光振興

《インバウンド誘客関連予算》

R7当初：18.9億円 [前年度比149.3%増] ※令和6年度2月補正（その1）含み

II. 未来を拓く / 3. 観光・プロモーションの推進

### ● インバウンド誘客 反転攻勢への対応

弱点克服：インバウンドの回復率 全国47位 ※令和元年10月比

- インバウンド誘客に関する戦略策定  
[16百万円（一部2月補正（その1））]
- インバウンドに対応した受入環境の  
充実への支援  
（宿泊施設の和洋室化等への補助） [608百万円]



### ● 観光誘客のさらなる推進

日本人宿泊者数 R元:687万人→R6:694万人(回復率100.9%)

UP!!

- 平日の需要喚起に向けた旅行者の県内周遊の促進  
[86百万円（一部2月補正（その1））]
- 斎宮歴史博物館の展示リニューアル  
に向けた設計、史跡公園整備計画  
策定のための調査 [35百万円]

